

令和3年度電力需給調整力の強化等に向けたV2X普及啓発業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による事業者選定会議の結果について

大阪市環境局

1 案件名称

令和3年度電力需給調整力の強化等に向けたV2X普及啓発業務委託

2 選定した受託予定事業者

株式会社 JWAT WAVE

3 公募期間

令和3年9月15日（水曜日）から令和3年10月6日（水曜日）

4 選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（五十音順）

委員氏名	役職等
大森 英樹	大阪工業大学 教授
清水 万由子	龍谷大学 政策学部 准教授
水野 稔	大阪大学 名誉教授

(2) 選定会議の開催日

令和3年11月2日（火曜日）

(3) 審査基準

評価項目	審査内容	配点
業務目的及び業務内容の理解度	<ul style="list-style-type: none">企画提案された内容は、本市の示す業務目的・業務内容と合致するか。業務目的及び内容、これまでの本市の取組みに関する理解・知識が十分にあるか。	15点
業務遂行にあたっての実施体制	<ul style="list-style-type: none">受注業者の持つV2X分野等に関する専門知識や普及啓発に係るノウハウを有する人材を確保の上、最大限に活用し、業務遂行する内容となっているか。企画提案された内容に対し、必要かつ十分な実施体制であるか。想定される課題や解決手段に対して事業目的が効果的に達成できる体制になっているか。	15点
工程の計画性、実施手	<ul style="list-style-type: none">業務を効率的かつ効果的に実施できる計画的な全体	15点

順の妥当性	スケジュールであるか。 ・V2X の導入促進につながる効果的な実証、効果検証、普及啓発の実施手順となっているか。	
業務実施手法の実現性、的確性、独創性	①実現性（10点） ・普及啓発方法の内容が、啓発対象（市民・事業者）に合った現実的で実現性があり、効果的な方策となっているか。 ・V2X モデルの構築と効果実証の手法が、現実的で実現性があり、効果的な方策となっているか。 ②的確性（15点） ・企画提案内容が具体的で的確かつ目的達成に資する継続的な効果が発現される内容となっているか。 ・V2X モデルは、太陽光発電等の電気設備と連携して構築するなど、新たなエネルギー社会を見据えた効果的な方策となっているか。 ③独創性（15点） ・事業実施にあたっては、電力、自動車、防災など V2X に関係する団体等とのネットワークを活かしているか。 ・事業実施にあたっては、随所に工夫が施されているか。	40点
類似・関連業務の実績の豊富さ	・これまでの V2X の構築実績の豊富さはどの程度か。	10点
費用積算根拠の妥当性	・事業を実施するのに必要かつ十分な金額となっているか。	5点
合計		100点

(4) 企画提案事業者（五十音順）

- ・株式会社 エー・チーム
- ・株式会社 JWAT WAVE

合計 2 事業者

(5) 審査結果（選定委員 3 名の評価点の合計点）（社名は合計点の高い順）

	評価点 (委員 3 名 の合計)	A 社	B 社
業務目的及び業務内容の理解度	45	36	28
業務遂行にあたっての実施体制	45	38	31
工程の計画性、実施手順の妥当性	45	34	28
業務実施手法の実現性、的確性、独創性	120	98	77
類似・関連業務の実績の豊富さ	30	28	22
費用積算根拠の妥当性	15	12	11
合計	300	246	197